

# 京都CF

## 企画営業スタッフ募集

行動的で、好奇心旺盛で、社交性があって  
体育会系で、元気があって、声が大きくて  
外食が好きで、お酒も程々に飲めて  
映画や音楽も好きで、どちらかと言えば綺麗好き…

そんな人材を求めています。

### 職種/企画営業

応募資格/学歴不問。経験者優遇  
必要資格/普通自動車  
応募年齢/男女問わず、22歳~30歳

### 就業明細

勤務時間/10:00~19:00  
給与/月収18万円~27万円(研修期間有り)  
休日・休暇/年間休暇日数104日  
休日・休暇に関する特記事項  
/週休2日制 土・日出勤の場合あり  
待遇/社会保険・厚生年金

### 会社概要

業種/出版・広告・音楽・書籍出版・広告企画  
事業内容/出版事業・広告代理業・マーケティング事業  
社員の平均年齢/29歳  
創立/1988年3月  
資本金/1000万円

### 応募

まずは郵送にて履歴書をお送り下さい  
電話番号/075-256-4164 担当/総務 渡邊・田村  
〒604-8134 京都市中京区六角通烏丸東入ル  
大輝六角ビル2F  
(地下鉄烏丸御池駅6番出口より南へ徒歩5分)

<http://www.kyotocf.com>



富田屋 十三代目

## 田中峰子

TANAKA MINEKO

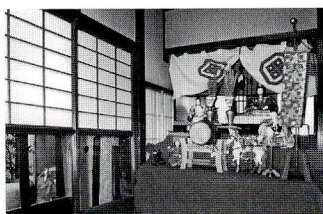
【プロフィール】西陣の老舗呉服商「富田屋」の十三代目として、家業を営む傍ら店舗が「国の登録有形文化財」の指定を受けたのを機に「西陣くらしの美術館」として公開。「古都の風 和道会」主宰。大学や文化スクールでの講師も務める。



## 真の大和撫子になるために 古きを学び、知る「日本人の心」



毎朝、炊き立てのごはんと神水(井戸水)を家中の神様にお供えし、家内安全を願うことから一日が始まる。坪庭には神事にのみ使う「金の井戸」がある。3つの蔵のうちひとつは「神様の開かずの蔵」として守られている



西陣では「大将さん」と呼ばれ、武者人形や兜を飾ってお祝いをする端午の節句には、昔ながらの節句料理をいただき、こぼれ話やお遊びを楽しめるイベントが開催される。代々伝わる精悍な武者人形は一見の価値あり



「富田屋」のアイドル、接客犬のジュニー(♀4歳)。振袖のおべべを着て、訪れる人々に愛嬌を振りまいている。ジュニー率いるスタッフさんは、全員英会話も堪能。外国人の見学者に「和の心」を伝えている

### information

#### 西陣・京町家 富田屋

京都市上京区大宮通一条上ル  
☎075-432-6701  
<http://www.tondaya.co.jp>

「端午の節句の会」 日時: 5月5日~30日

料金: 8400円

※詳細は直接問い合わせを

※要予約

「和」が持つ心の豊かさ。それこそが、田中さんの最も大切だと考えているものだ。「やさしくて、手先が器用で、芸術性に富み、周囲の人と仲良くでき、貧乏であっても高貴——それが日本人の心。何もかもアメリカナイズされて、自分のことしか考えない現代の世の中だからこそ、古きを知ってもらいたい」という思いから、基本的なマナーを学ぶ講座も開講している。着物だけでなく、お茶、お花、能からはじまり、食事のマナー、風呂敷の扱い方、手紙の書き方などに古きを学ぶ。とはいえ、「日本人の心」なんてどこにあるの? 目に見えないし、思い出せと言われても…と思う人もいだろう。何も堅苦しく考える必要はない。こうした人にもいいだろう。何も思いばかりある人たちに「細かく気にしなくてもいいのよ」と田中さんは教えてくれる。大切なのはルールではなく、その本質。手紙の書き方ひとつとっても、自分の名前より相手の名前を高い位置に書くのは、自分を控えて相手を敬う気持ちの表れ。「なぜそういう決まりになっているのか、意味を教えてあげれば、一生忘れないでしょう?」。とはいえ、「式」とつくとときの最低限なルールはある。しかし、それらを誰に聞いたらいいのか解らない人も多い。核家族が増え、ご近所づきあいも希薄になった今、アドバイスするのが自分ができること。田中さんのスタンスは潔い。京都の暮らしや京町家について語る学者は多いが、毎日の神さんごと、仏さんごとを地道に続けるのは容易なことではない。呼吸をしている町家に生まれる「気」を感じてほしいからこそ、田中さんは貴重な文化財でもある「富田屋」を一般公開しているのだ。

昔ながらの庶民の生活。どこの家でもやってきたことには、あたたかい気持ちや感謝の気持ちが溢れている。代々受け継がれてきたものには、一つひとつに意味があることを知る必要があるだろう。ここ日本で暮す、日本人だからこそ。「いろんな決まりごとがあるけれど、最終のマナーは笑顔。少しくらい失敗しても、にこっと笑えば全てが吹っ飛ばさずあってありますよ」と気さくな笑顔。あくまで解りやすく、ユーモアに富んだ説明で、思いやりの心に気づかせてくれる。「お着物体験」「お茶席体験」「ぶぶづけ弁当」などの体験はもちろん、全12回のマナー講座も和に興味を抱かせる入門だ。「卒業したら素敵な大和撫子になれますよ」の言葉を信じて、一度「和の心」に触れて見てはいかがだろうか。